

# 名護市教育委員会議事録

|      |   |   |  |  |
|------|---|---|--|--|
| 会議名  | 第 384 回名護市教育委員会臨時会議                       |   |  |  |
| 開催日時 | 令和 5 年 9 月 27 日 (水) 開会 16 : 00 閉会 16 : 30 |   |  |  |
| 開催場所 | 名護市役所庁議室                                  |   |  |  |
| 出席者  | 教育長<br>委員 (教育長職務代理者)<br>委員<br>委員<br>委員    | 岸本 敏孝<br>大城 千代子<br>大城 享<br>宮城 恵次<br>松田 由絵 | 教育次長<br>(教)総務課長<br>学校教育課長<br>学務係長<br>文化課長兼博物館長<br>博物館管理係長<br>(教)総務係長 | 岸本 尚志<br>玉城 利和<br>大城 正章<br>大城 郁也<br>仲田 宏<br>糸数 幸司<br>大城 志野<br>ほか担当職員 |
| 欠席者  |   |   |  |  |

## 1 議案

報告第 15 号 専決処分事項の報告について (令和 5 年度名護市一般会計補正予算 (教育費予算 (補正第 4 号)) の要求について)

報告第 16 号 専決処分事項の報告について (公立学校管理職途中人事異動に係る内申について) ※秘密会

## 2 内容

・報告第 15 号 専決処分事項の報告について (令和 5 年度名護市一般会計補正予算 (教育費予算 (補正第 4 号)) の要求について)

(文化課長兼博物館長より説明)

委員：博物館の法面復旧に設計が必要なのか、元に戻すのではないのか。また、数年前にも高額な法面工事で補正増額を行っていたと記憶しているが、このような工事は施工業者に瑕疵責任等は無いのか、市が負担しないとイケないのか。

文化課長兼博物館長：今回の災害が起きたのは、雨量が多く強い雨であったことが理由だと考える。令和元年の末に造成工事の中で一部法面の工事を行い、その後も時間雨量 20mm、最大雨量 80mm を超える日が多くあったが、それでも崩れてはいない。今回の災害については、それを超える長時間の強い雨と集中豪雨であったことが崩れた原因だと考える。また、令和 3 年度に工事した後からも経過観察を進めてきたが、それ以降も特に災害は無いため、設計不良や工事不良では無いと考えている。

委員：今回の災害は、想定外であったということか。

文化課長兼博物館長：はい。想定外の雨量等で災害が起こったと考えている。

委員：どのような工法なのか。

文化課長兼博物館長：工法については、基本的には原状の法面に復旧する考えであり、今回の場合は、法面の切り直しを行う。切り直しの際に安定勾配を使わないといけないが、安定勾配を保とうとすると、上の道路にかかってしまう。そのため、設計が出てみないと工法は確定できないが、基本的にはフィット筋工法での整備を考えている。また、今回は設計予算のみであるが、今後この設計の中で工事費を積み上げていくため、積みあがった段階で議会に上程することになる。

委員：報告事項と直接関係はないが、旧博物館の名護親方の銅像はどうするのか。

文化課長兼博物館長：今後跡地利用について検討しなければいけないと考えており、跡地利用の中でどうしていくのかということも併せて考えていく必要がある。また、旧博物館については、現在全く使用していないということではなく、一部の職員が資料整理等を行っている。

・報告第16号 専決処分事項の報告について（公立学校管理職途中人事異動に係る内申について）※秘密会

（学校教育課長より説明）

名護市教育委員会会議規則第26条の規定により署名する。

（会議録署名人）

教育長 岸本敏寿

作成職員 津波古 愛梨